



国際交流のひろば

短期外国人留学生修了証書授与式

9月4日(火) 13時30分から学長室にて短期外国人留学生修了証書授与式を執り行いました。

昨年10月から特別聴講学生として留学した中国協定校からの4名と日本語・日本文化研修留学生2名に、学長から修了証書が授与されました。



日本語・日本文化研修留学生 李 博麗 (中国)

2017年9月29日、私はハルビンから日本へやってきました。ハルビンとは違って、上越市の空気は海の匂いがあり、内陸の都市で育った私にとっては、とても斬新な感じでした。

一年が過ぎて、私もここでの生活に慣れるようになりました。人口がそれほど多くない上越市の独特の雰囲気にも慣れて、交通手段は主に自転車、又はバスであることも慣れました。最初は不便だと思ったことが、今の私にとって、それら全部が上越市の特徴だと思うようになりました。

この一年間の生活を通して、私は上越教育大学の皆さんの暖かさに感動しました。日本語が上手ではない私たちに対して、焦らずに私たちのわけのわからない日本語を聞いてくれて、そして熱心に接してくれて、本当に感謝の言葉しか浮かびません。授業中に私たちを気遣ってくれた先生もいて、休みの時一緒に遊ぼうって誘ってくれた日本人の方もいて、皆さんのお陰で、私たちは一日でも早く日本の生活に慣れました、本当にありがとうございました。

修了生からの手紙

平成30年3月に大学院修士課程(国語コース)を修了し、現在、中国の高校で日本語教師としてご活躍されている付 永亮さんからお手紙が届きました。

平成29年度大学院修了生 付 永亮 (中国)

皆さん、お元気ですか？今年の3月に上教大にお別れを告げた付永亮です。修了してもう五ヶ月経ち、早いなあと感じています。故郷、四川に戻って、新たな生活が始まりました。家族との再会、各地での就職活動、自動車学校の通学、顔の変な友達との遊びなどがありました。

私は8月下旬から、実家近くにある公立中学校(中高一貫)に高校教諭として勤めています。日本語を教える仕事ですので、日本で得た経験や知識を生かして響きのある教師になっていきたいです。今は新しい町で、平穏で楽しい毎日を送っていますが、いつも上越での日々を思い出します。高田の桜、日本海の夕陽、囁っていたカラスサロン、真っ白な風花などが頭の中に浮かんできています。もちろん、上越で出会った先生、友人などの優しい方々の笑顔も忘れません。またいつかお会いできるのを楽しみにしています。お元気で。



入職ガイダンスにて

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)